



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

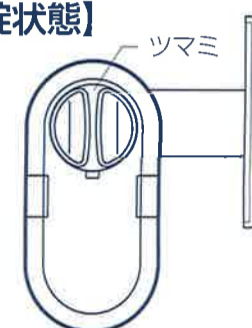
取付け順序

- ①皿ねじでメイン箱錠ケース(上)を取付けます。
 - ②皿ねじでサブ箱錠ケース(下)を取付けます。
 - ③メイン用シリンダー(大きい方)のトステムマークを上に向けメイン上ケースの角穴に合わせて差込みます。
 - ④電動サムターン取付け板の中心の穴をメイン箱錠の角穴に合わせ、皿小ねじでメイン用シリンダーに取付けます。
このとき、取付け板のパッキンスリット穴にハーネスを通しておきます。(サブ箱錠も同様に行ってください。)
 - ⑤電動サムターンにハーネスのコネクタを差込み、サムターンのつまみを縦に向けサムターンを取付け板にはめ込み、バインドねじで取付けます。
 - ⑥(防犯アラーム付きシリンダーの場合のみ)扉から黒色のコネクタを引出し、防犯アラーム付きシリンダーのコネクタと接続します。
 - ⑦サブ用シリンダー(小さい方)の上側シール(上側シール付きのシリンダーのみ)を上に向け、メイン上ケースの角穴に合わせて差込みます。
 - ⑧ ⑤、⑥と同様にセキュリティ電動サムターンを取付けます。
 - ⑨電動サムターンのバインドねじの上にねじカバーをはめ込みます。
- ※メイン箱錠ケース・サブ箱錠ケースは、「TOSTEM」マークを上にして取付けてください。
※電動サムターンにはL/Rの区分があります。ご注意ください。(右吊=R、左吊=L)

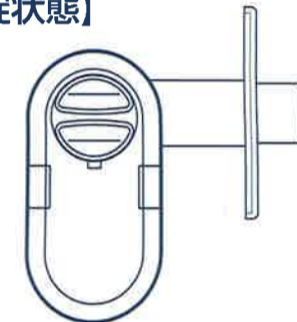
サムターンつまみの操作

※サムターンつまみは縦にして取付けてください。

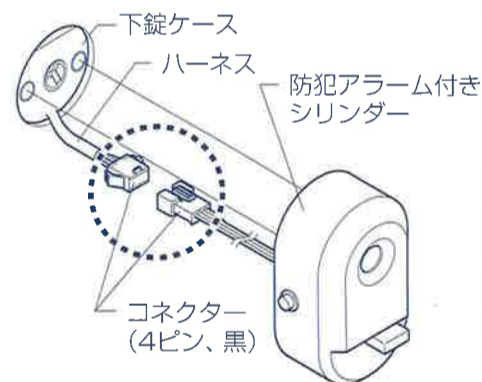
縦【解錠状態】



横【施錠状態】

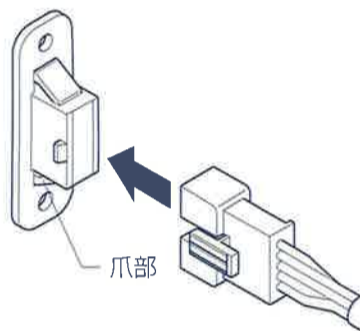


防犯アラーム付きシリンダーの場合

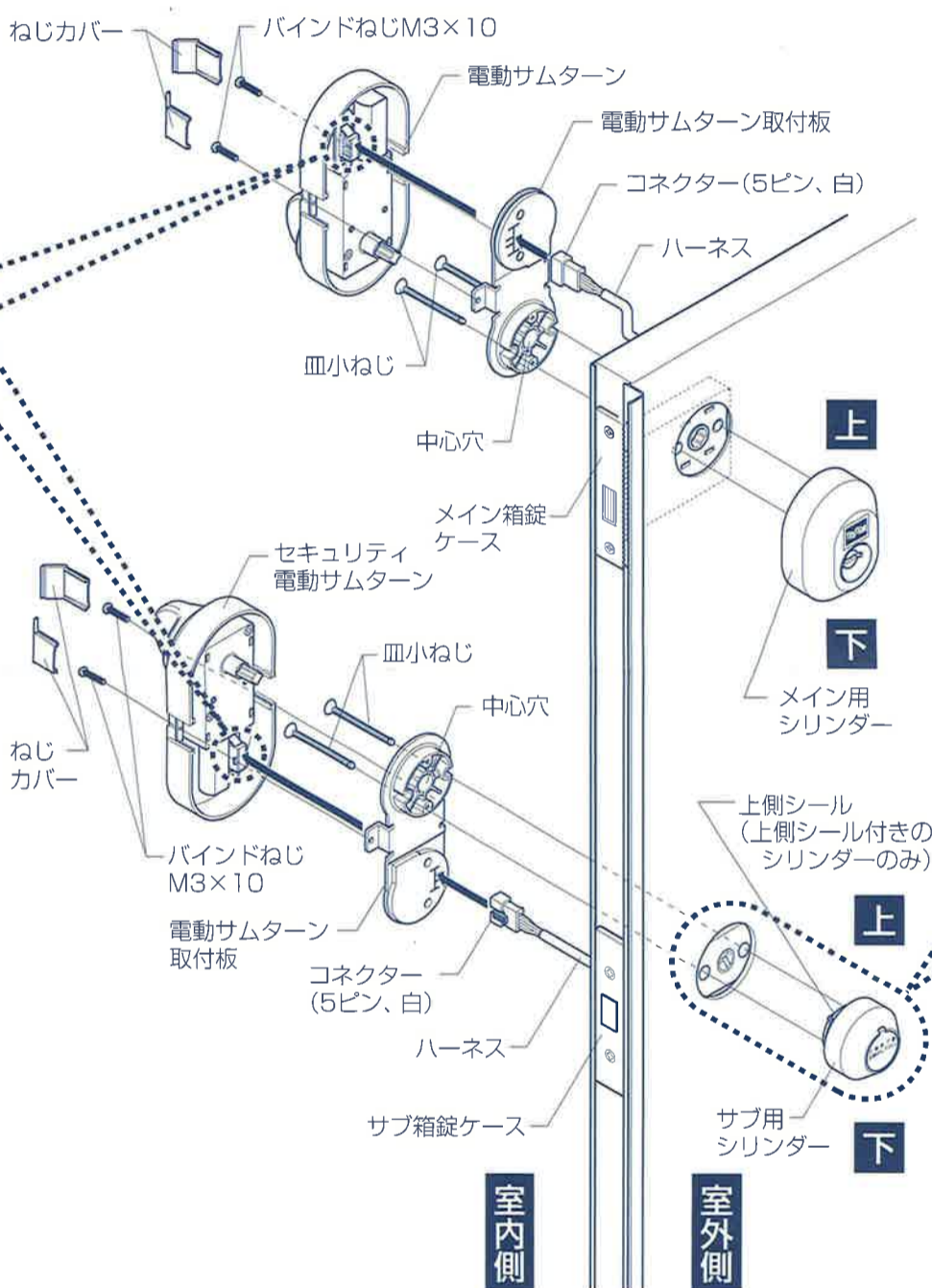
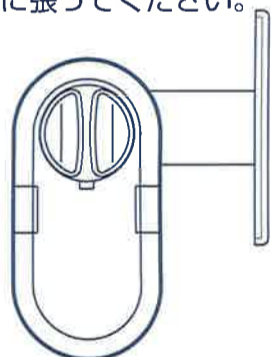


※シリンダーを取付けるときは、ハーネスを扉内でかみ込まないようにしてください。作動不良の原因になります。

※コネクタを接続するときは、コネクタにごみ、汚れ、水が付着していないことを確認し、カチと音が鳴るまで差込んでください。作動不良の原因になります。

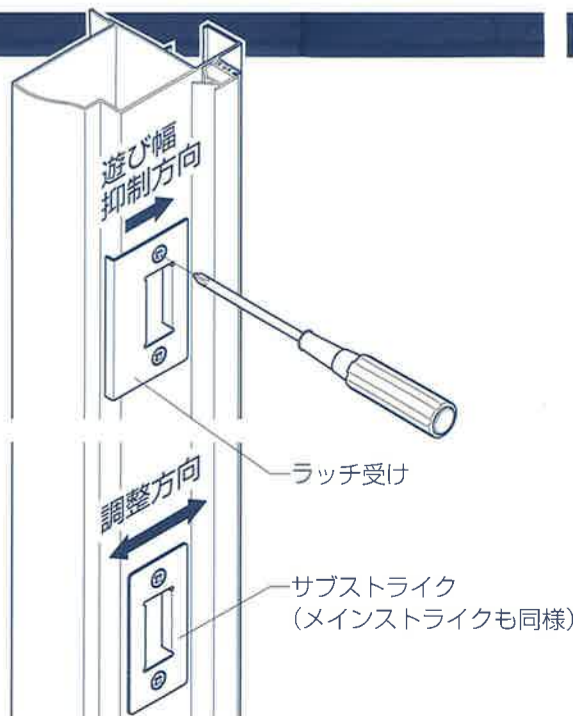


※同梱の錠の操作上のお願いラベルをサムターンの下に張ってください。



建付け調整時のお願い

- ドアの建付け後、下記の調整を行ってください。
ドアが風で押された場合、デッドボルトがストライクにこすれ作動不良になるおそれがあります。
- ①扉を閉めた状態でラッチの遊びが少なくなるようにラッチ受けを調整してください。(ドアクローザーにて自閉した際に確実にラッチがかかることを確認してください。)
 - ②ラッチの遊びの範囲内でデッドボルトがストライクにこすれることが無いように上下ストライクを調整してください。



電動サムターンのポイント

●電動サムターンを使用していると、手でサムターンを回したときに「カチ、カチ」という音と共に引っ掛かり、操作が重くなることがあります。これは動作中に負荷が発生し、保護用のクラッチが働いた為でサムターンの故障ではありません。負荷の原因を取除き(建付け調整時のお願い参照)再度サムターンを電動で動作させると元に戻ります。

